枚方市介護予防·日常生活支援総合事業

介護予防・生活支援サービス事業 の効果



枚方市 長寿社会部 地域包括ケア推進課 平成29年7月

市独自の事業

枚方市独自の介護予防・生活支援サービス事業は5つあります。

- 生活援助訪問事業
- 教室型通所事業
- ・ リハ職行為評価事業
- リハ職訪問通所指導事業
- 栄養士派遣指導事業

生活援助訪問事業

 介護の専門職(訪問介護 員等)ではなく、市の生活 支援員養成研修を修了した 者(生活支援員)が、居 宅等を訪問し、掃除や買い 物、調理など、家事の支援 を行う事業

【研修時間数】

介護職員初任者研修⇒130時間 生活支援員養成研修⇒ 13時間



事例1)生活援助訪問事業

Aさん(75歳・女性)独居 訪問介護と同じ時間で同じ支援を行うために 高 は、Aさんと生活支援員が一緒に作業しなけれ ばいけなくなった。 平成26年から 膝、腰、乳がん、手指の手術と 入退院を繰り返す。 訪問介護と生活援助訪問事業で 平成28年4月 支援内容に変更なし。 認定申請 ⇒ 要介護4 平成29年4月 【元気度 更新申請 ⇒ 要支援1 一緒に行うことで、Aさ んが出来る家事が増 訪問介護(生活援助) 生活援助訪問事業 え、Aさんの自信につ 要介護4 要支援1 ながっている。 Aさんが家事を自分で 出来ることを目指す。

低

支援する者が専門職ではなく同年代の生活支援員だからこそ、同じ時間の流れの中で一緒に作業することができた好事例

リハ職行為評価事業



 リハビリテーション専門職(理学療法士・作業療法士等)が居宅を 訪問し、身体機能を評価、できない行為や動作が「出来る!!」ようになる支援を行う事業

【利用の理由(事例2)】

腰背部痛(多発性腰椎圧迫骨折等)のため苦慮するベッドでの起居動作や掛け布団の扱い方を工夫する方法等の評価、指導を行い就寝、起床行為の自立を促すため。

事例2) リハ職行為評価事業

Bさん(76歳・女性)夫婦二人暮らし

高

平成26年に腰椎圧迫骨折、腰の痛みが強く、コルセットを使用しないと起居動作が出来ない。 円背で前屈み。

15分続けての歩行も難しい。

屋内は伝い歩き、屋外は押し車を使用しているが、体を動かす機会が極端に減ってきている。

自分の力で寝起きができ、 不安感なくゆっくりと休み たい。

【評価】

背もたれを上げ、下肢の浮腫を改善するため下腿部分に座布団3枚を敷いて高さを作り、ベッドで「くの字」になり寝ている。姿勢が悪い。 ソファでの座位時間も長く、姿勢が悪い。 痛みの訴えは強いものの、立位や歩行時は訴えが少なく、寝姿勢で痛みが強くなる傾向



【助言·提案】

長時間同じ姿勢をとっていることが多いため、太もものストレッチ(自主トレ)を本人に伝える。 受診時に下肢の浮腫について医師に相談するよう本人に伝える。

円背姿勢の方が十分介助を得られる歩行器を 提案、歩く意欲の向上につながる支援をケアマネ ジャーに伝える。

低

【元気度

リハ職訪問通所指導事業

身体機能の改善にとどまらず、 生き生きと元気な暮らしを取り 戻すため、イオン枚方店に自ら 通い、R9ステッキを活用したプ ログラム(エクサルク)を実施す ることで、自立と社会参加を促 進するリハビリテーションの理念 を応用した事業

> 【exeR 9 (エクサルク)】 音楽に合わせてダイナミックに身体を動かすことで身体機能の改善を目指す 運動プログラム



事例3) リハ職訪問通所指導事業

高

Cさん(79歳・女性)夫婦二人暮らし

以前のようにウオーキングしたり、 娯楽に行きたい!



平成28年11月に右膝骨折で手術、右膝が曲がりにくく、 足に力が入りにくいため、立ち上がり動作に時間がかかる。 段差や坂道の上り下りに対して不安感がある。 トイレでの立ち座り動作、移動の安全のため、トイレ内 手すり貸与

ひらかた元気くらわんか体操のスクワットで立ち座り動作、負荷をかけた運動プログラム (エクサルク)、イオン内の階段で評価指導の結果、本人が望む生活を取り戻すことができた!

立ち座り動作に不安がなくなり、トイレ内手すり返却!

駅の階段で昇降の自信がつき、夫の通院に引率できた! 天満橋まで行けると思う!

【次の目標】

自転車に乗って買い 物に行きたい!

【6か月後の目標】

天満橋まで電車で 落語を見にいくことが できる。

達成!

低

【元気度】

1回目 ・・・・・・ 4回目

----8回目 ----

12回目

悪循環から好循環に・・・

悪循環に陥らない、断ち切るための支援を行うため には、介入のタイミング・支援者間のチームアプロー チが効果的!

Aさんは、サービスを変えて、自分で出来る家事が増えた!

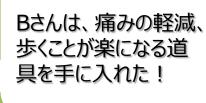




2 家の中や外出先で 転んでしまった (運動器の機能低下)



3 転ぶのがこわくて 外出しなくなった (閉じこもりの状態)





ますます筋力が低下。 立つこともままならない状態に (生活機能の低下)



動かないので食欲もわかず 欠食するようになった (低栄養の状態)

Cさんは、外出の不安 が軽減、夫の付き添い (役割)を担うことが できた!